

会 告

2025 年度総会・研究発表会等について

各種振込みは 2025 年 10 月 1 日～2025 年 10 月 15 日にお願いします。

総会・研究発表会開催日が昨年より約 1 ヶ月早くなっています。そのため、各種締切りが昨年よりかなり早くなっていますので、締切日にご注意ください。

1. 会場：静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ（9F, 10F, 受付 10F）
静岡県静岡市駿河区東静岡 2 丁目 3-1（JR 東海道線東静岡駅南口）
URL: <http://www.granship.or.jp/>

2. 期日：2025 年 10 月 22 日（水）

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| ・ 講演発表会 | 2025 年 10 月 22 日 9:30 ～ 17:00 |
| ・ 総会（議事，表彰式） | 2025 年 10 月 22 日 13:00 ～ 14:00 |
| ・ 理事会 | 2025 年 10 月 22 日 11:30 ～ 13:00 |
| ・ 懇親会 | 2025 年 10 月 22 日 17:30 ～ 19:30 |
- * 講演発表会の開催時刻は講演申込み件数により，上記範囲内で決定いたします。

3. 申込み締切り日および振込み期間

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ・ 講演申込み・講演要旨提出締切り | 2025 年 7 月 29 日（火） |
| ・ 発表会および懇親会参加登録締切り | 2025 年 9 月 25 日（木） |
| ・ 講演要旨集のみ購入申込み締切り | 2025 年 9 月 25 日（木） |
| ・ 参加費および懇親会費振込み期間 | 2025 年 10 月 1 日～2025 年 10 月 15 日 |
| ・ 講演要旨集のみ購入代金振込み期間 | 2025 年 10 月 1 日～2025 年 10 月 15 日 |

4. 講演申込み方法

- (1) [講演申込 e メール書式] に従って必要事項を記入し，e メールで申込んでください。宛先は shizuoka2025@chagakakai.ec-net.jp です。この e メールの情報により講演プログラムを印刷します。タイトルや発表者氏名，所属に間違いがないことを確認してください。
- (2) 発表者は原則として会員に限ります。ただし，連名の場合はそのいずれかが会員であれば了承します。なお，講演申込みは会員が行うこととします。
- (3) 運営の都合上，講演は 1 名につき 2 題までとします。共著者としての演題数には制限はありません。

5. 講演要旨原稿

別記，要旨作成要領に従って作成した講演要旨の PDF ファイルを講演申込 e メールに添付してお送りください。

6. 参加登録および参加費振込み方法

- (1) [参加登録 e メール書式] に従って必要事項を記入し，e メールで申込んでください。宛先は shizuoka2025@chagakakai.ec-net.jp です。
- (2) 参加登録締切り後の参加申込みは受け付けません。
- (3) 参加費及び懇親会費を 10 月 1 日～10 月 15 日の期間に送金してください。参加費お

よび懇親会費の当日払いは受け付けません。日本茶業学会の領収書が必要な方は、個別に日本茶業学会事務局まで連絡してください（TEL・FAX 0547-45-0024, jimukyoku@chagakakai.ec-net.jp）。

- (4) 研究発表会には参加せず、講演要旨集のみを希望される方には、会員 1,500 円、非会員、2,500 円（いずれも送料込み）でおわけします。9 月 25 日までに日本茶業学会事務局まで連絡し、10 月 1 日～10 月 15 日の期間に送金してください。
- (5) 参加費及び懇親会費

	会員	非会員
参加費	3,000円	4,500円
懇親会費	6,000円	6,000円

＊事前振込みのみで、当日払いは受け付けません。

＊10 月 22 日の研究発表会終了後、懇親会を開催いたします。

- (6) 振込方法

銀行名 ゆうちょ銀行
振込口座 00880-2-126667
加入者名 日本茶業学会研究発表会

なお、会員には振込取扱票を 9 月中旬（予定）にお送りします。参加費および懇親会費の振込みは 10 月 1 日～10 月 15 日の期間にお願いします。

7. 講演について

- (1) 発表時間は質疑を含め 15 分とします。
- (2) 発表方法は PC プロジェクターとし、各自で操作してください。
- (3) プロジェクターに接続する PC は会場に用意します。OS は「Windows 11」、プレゼンテーションソフトは「PowerPoint」を使用します。Microsoft 365 Apps for Business の最新版で映写可能としてください。スライドのサイズは後日ホームページに掲載します。Adobe PDF も使用できます。
- (4) 講演者は、プレゼンテーション用のファイルを CD または DVD で持参して、休憩時間に各自で発表会場の PC へコピーし、正常に投影されることを確認してください。なお、USB メモリー等の使用はセキュリティ上の危険性があるため認めません。ご協力をお願いいたします。
- (5) PC の持ち込みも認めますが、事前に日本茶業学会事務局への連絡が必要です。
- (6) ファイル名は「講演番号＋氏名.拡張子」（例：A-04 茶業太郎.pptx）としてください。

8. 農研機構シンポジウムについて

研究発表会翌日の 10 月 23 日に同会場で農研機構主催のシンポジウムが開催される予定です。詳細は後日、農研機構ウェブサイトに掲載されます。

9. 日本茶業学会事務局の住所、連絡先および URL

〒428-0039 静岡県島田市金谷猪土居 2769 農研機構金谷茶業研究拠点内
日本茶業学会事務局
TEL・FAX：0547-45-0024
e-mail: jimukyoku@chagakakai.ec-net.jp
URL: <http://chagakakai.ec-net.jp>

追加案内やプログラム等は、9 月中旬に上記ウェブサイトでお知らせする予定です。

講演申込 e メール書式

メールの件名：(Subject：)に「講演申込み」と記入し、下の例に従って、タイトル、氏名、氏名よみがな、所属名、分類、メールアドレスの順に e メール本文中に記入してください。講演要旨以外の添付メールは受け付けません。なお、講演申込みによりプログラムを作成しますので、講演要旨と同じタイトル、氏名、所属名としてください。申込みアドレス shizuoka2025@chagakkai.ec-net.jp

タイトル：日本茶園の持続的発展に関する一考察
氏名：○茶業太郎・製茶花子 1) ・緑茶次郎 2)
氏名よみがな：ちゃぎょうたろう・せいちゃはなこ・りよくちゃじろう
所属名：農研機構果樹茶業研究部門， 1) 金谷大学， 2) ○○茶園
分類：経営
メールアドレス：xxxxxx@xxx.xx.xx

- (1) タイトルや氏名などの後には、全角の「：」を挿入してください。
- (2) 講演者の氏名の前に○を付けてください。
- (3) 共同発表者氏名の区切りには全角の「・」を使用してください。
- (4) 所属名の区切りには全角の「，」を使用してください。
- (5) 分類は、「育種」「栽培」「土肥」「病虫害」「製茶」「成分」「経営」「その他」より選択してください。

参加登録 e メール書式

メールの件名：(Subject：)に「参加申込み」と記入し、下の例に従って、氏名、都道府県名、メールアドレス、所属名、会員・非会員、懇親会参加の有無の順にメール本文中に記入してください。添付メールは受け付けません。申込みアドレス shizuoka2025@chagakkai.ec-net.jp

氏名：茶業太郎
都道府県名：
メールアドレス：xxxx@xxx.xx.xx
所属名：農研機構果樹茶業研究部門
会員・非会員：会員
懇親会参加の有無：参加

- (1) 氏名や都道府県名などの後には、全角の「：」を挿入してください。
- (2) 会員・非会員は「会員」「非会員」のいずれかを記入してください。
- (3) 懇親会参加の有無は「参加」「不参加」のいずれかを記入してください。

[別記]

日本茶業学会研究発表会講演要旨作成要領

日本茶業学会誌編集委員会

日本茶業学会研究発表会講演要旨の様式は下記のとおりです。これに従って資料を作成し、PDF ファイルで送ってください。なお、白黒印刷です。

1. 1 課題について A4 サイズ要旨 1 枚（横書き）にまとめる。上部に本文，下部に図表をまとめて記載することを原則とする。そのまま印刷されることを考慮して文字や図表は鮮明に表示すること。
2. 以下の書式で作成する。
上下マージン各 3.0 cm，左右マージン各 2.0 cm をとり，枠内に 46 行，46 文字（全角）とする。図表もこの枠からはみ出さないよう注意する。
3. 書き出しは先頭の 7 文字をあけ（講演番号を後で挿入するため），続いて「表題」を記入する。次いで行をかえて，「著者名」（連名の場合，間に・を入れる）を記入，さらに行をかえて「所属」をカッコ書きとする。著者名と所属は行の中央にくるように配慮する。さらに行をかえて本文を書き，所属と本文の間は 1 行あけとする。著者が連名の場合は，発表者の前に○を付ける。

表題，著者，所属，書き始めの例

（はじめの 7 文字あける。文字は明朝体 10 ポイントを推奨。）

□□□□□□日本茶園の持続的発展に関する一考察

○茶園太郎・製茶花子 1）・緑茶次郎 2)

（農研機構果樹茶業研究部門，1）金谷大学，2）〇〇県茶業研究センター）

（名前と所属は中央に。所属と本文の間は 1 行あけ。）

最近 10 年の間に茶園土壌の強酸性化が急速に進んでいたことが 1996 年の実態調査から明らかになった。農家の施肥量の記録から，これらの現象が多量の窒素肥料の投入に起因することは明らかで，・・・。

注意事項

1. 講演要旨は茶業研究報告の別冊として製本し，研究発表会の当日に参加者に配付します。発表会に参加しない会員および希望者には有料で配布します。
2. 講演要旨はそのまま A4 サイズ 1 ページとして印刷されるので，原稿はできるだけ見やすく仕上げてください。